

屋内
専用

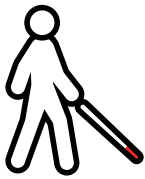
すべての人が
自由に移動
できる空間。
いつしよに
作りませんか？



歩導くん
Guideway
視覚障害者歩行誘導ソフトマット



視覚障害者の多くは、移動時にストレスを感じています。



入口からインフォメーションには、点字ブロックが設置されているのに、その先のお手洗いやエレベーターまでの誘導がない・・・
視覚障害者にとっては必要な誘導路ですが、高齢者や身体障害者等の移動に影響を与えるなどの理由で、法令で定める必要最低限しか設置されていない施設もあります。

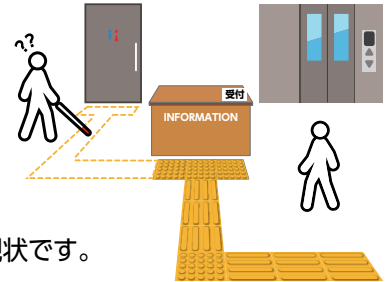
「いま、1分だけ目を閉じてみてください」

真っ暗な1分間はきっと、様々な不安を感じたのではないのでしょうか？
視覚障害をお持ちの方は、常に見えない不安を感じています。
その不安を和らげるために、あなたと共に私達ができることがあります。

当事者からの要望が多いのはハード面の支援

屋内のバリアフリー化において、当事者から特に要望が多いのは「いつでも利用できるハード面の支援」です。
それぞれの障害特性に応じた移動支援があれば、常に介助が必要なわけではなく、自力で移動できる方も多く存在します。

視覚障害者であれば、目印がないと道がわからない(全盲)・見えにくい(弱視)ため、手すりや誘導ブロック・音声案内などの設備が必要になり、車いす利用者は、段差の乗り越えが困難であるため、平坦な通路やスロープ・エレベーターなどが必要になります。



実は、視覚障害者のための誘導ブロックも、設置の仕方によってはバリアになってしまうのが現状です。

歩導くん ガイドウェイは、誰もが自由に移動できる空間を作ります。

推薦者の声

特定非営利活動法人日本バリアフリー観光推進機構 副理事長 三輪利春様



誘導マットの開発当初から携わっていますが、見えにくい方や見えにくい方の歩行を手助けしてくれる優れたものです。高齢者の方が感動しておられる声を聞き、嬉しくなりました。年を取ると誰でも身体が不自由になってきますよね。誘導マットのように、誰もが使える物のことを、ユニバーサルデザインとも呼びます。

近畿ブラインドテニス協会 副会長 岩下正之様



私はブラインドテニスの大会会場で誘導マットと出会いました。体育館の中からトイレと更衣室に誘導マットを設置いただいているのですが、一人で行きたいところに行けるということに感動しました。点字ブロックのニーズは時代とともに変わりますが、この誘導マットなら私たちのニーズを柔軟に叶えてくれる製品だと思います。

株式会社 YOUTURN 取締役 成澤俊輔様



僕には視覚障害があります。障害者雇用のコンサルティングをする中で、障害を持つ方の自分であることを増やすという視点において、誘導マットは一翼を担う存在になれると思います。今後は誘導マットが移動のインフラになり、当事者が楽しみややりたいことに取り組みやすくなるプロダクトに育つことを願っています。

NPO 法人ココロのバリアフリー計画 理事長 池田江江様



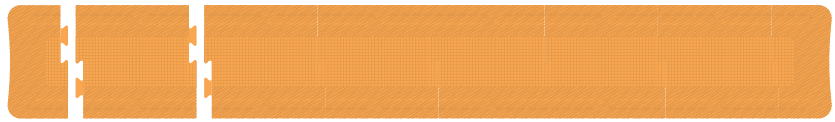
車いすで生活していると点字ブロックはとてもガタガタしていて振動があり、タイヤが滑ったり、とても漕ぎにくさがありました。目が見えない人には点字ブロックが必要なので仕方ないと思っていましたが、誘導マットを知り、これなら誰にとっても優しいと感じました。誘導マットなら移動しやすく、嬉しいです。





歩導くん Guideway

視覚障害者歩行誘導ソフトマット



視覚障害者歩行誘導マット 歩導くん ガイドウェイは、視覚障害者が白杖でやさしいマットを確認して目的地にたどり着ける、**特殊ゴム素材の誘導マット**です。

どのような空間でも、弱視の方に認識していただきやすくするために標準色はもとより、ご要望の特注色で空間内の演出と、**コントラストを両立することが可能です。**

製品は全体がスロープ形状のため、車椅子やベビーカー、ヒール靴でもスムーズな通行が可能となります。



視覚障害者



車椅子



ベビーカー



キャリーバッグ



ヒール靴

視覚障害者・車椅子・高齢者・ベビーカー・キャリーバッグ・ヒール靴・点滴スタンド...。移動するすべての人にとって、バリアにならない安心して移動できる通路を。

視覚障害者はどのようにして、認識してる？

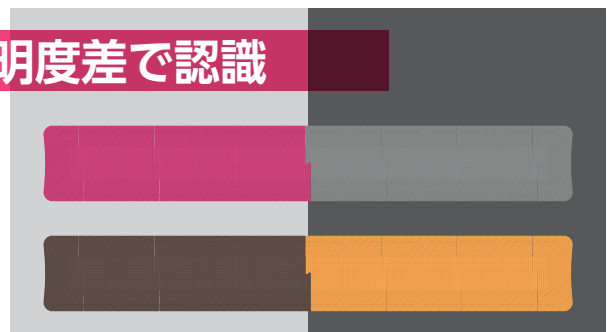
全盲の方は白杖や足裏からの質感・感触等で認識されています。また視覚障害者の8~9割の方は「弱視」に分類され、それぞれに見え方や状況は異なりますが、音、触感、床との輝度差で、認識されています。誘導マットは視覚障害の方、車椅子の方と共に開発・改良を重ねております。

音と感触



当事者と検証を重ね、白杖からの音や感触、足裏から伝わる柔らかさや周囲の床との違いで認識いただける形状と素材です。

明度差で認識



床材との差、【輝度比 2.0】を確保しやすい6色を標準でご用意。また、施設に応じた色やコーポレートカラーも別注可能です。

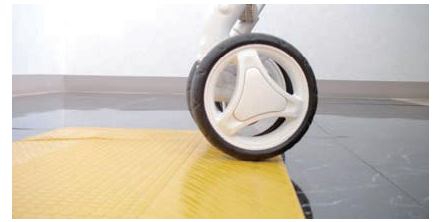
歩導くん ガイドウェイの 4 つの特長

1 見つけやすい



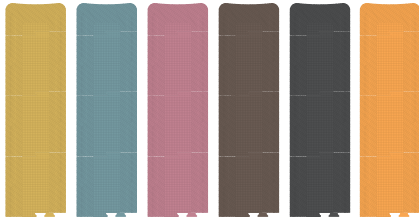
全盲の方は足裏や白杖の感触・音などで、弱視の方はさらに床材との明度差で誘導路と認識することができます。

2 スムーズ移動



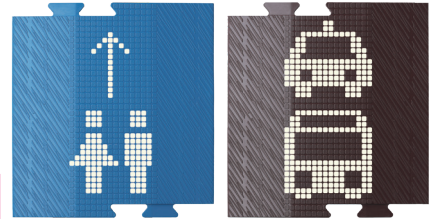
車いすや荷運び台車をはじめ、点滴スタンドやベビーカーなどの小さい車輪もスムーズに通行できます。

3 色が選べる



色は標準色の 6 色から選べるため、よりデザイン性のある商材として、景観に調和した建物づくりに貢献できます。

4 サイン表示



表面のグリッドを利用し、視覚障害者以外にも有用なピクトグラムや文字などを貼り付けることができます。

導入のメリット

転倒リスク軽減



表面に突起物が無いなだらかなスロープ形状のため、高齢者や幼児、肢体不自由者がつまづきにくい形状となっております。

法令への対応



障害者差別解消法で定める「障害者への合理的配慮」への対策としてご活用いただけます。

大規模工事が不要

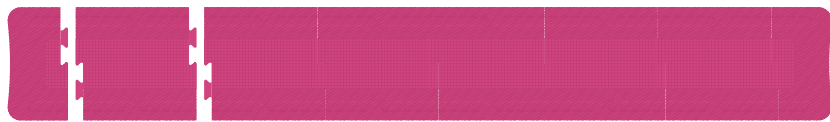


両面テープにより、専用工具不要で、短時間で施工可能。施工初心者でもマニュアルを見ながら安心して施工できます。

世界でも共感・評価されるプロダクト

世界中で多くの方の共感を得てその共感が世界的デザイン賞の金賞受賞にも繋がり、国内外の多くのメディアに取り上げられ評価されております。近未来、世界中のランドマークが歩導くん ガイドウェイで誰でも行ける身近な空間になることを目指しています。





Q. 歩導くん ガイドウェイは法的に設置可能なの？

A. 誘導路として設置可能です。

「バリアフリー法などの法令において、歩導くんの敷設は問題ないのか?」といったご質問に関して、国土交通省の回答資料※1、並びに第201国会予算委員会議事録※2より、法的に設置可能です。

※1 国土省回答資料は「平成25年度12月25日 構造改革特区に関する検討要請に対する各府省庁からの対応について」本文を指す。
本文URL (https://www.chisou.go.jp/tiiki/kouzou2/boshu24/kaitou_h260217/kokkou_k.pdf)

※2 衆議院 第201回国会 予算委員会 第八分科会議事録

令和2年2月25日 (http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_kaigiroku.nsf/html/kaigiroku/003820120200225001.htm)

2006年に施行されたバリアフリー法は、公共施設や不特定多数利用者施設(病院・ホテル・銀行・飲食店・百貨店など)がバリアフリー対象施設になっています。高齢者や障害者などの自立した日常生活や社会生活を確保するために、旅客施設・車両等、道路、路外駐車場、都市公園、建築物に対して、バリアフリー化基準(移動等円滑化基準)への適合を求めるとともに、駅を中心とした地区や、高齢者や障害者などが利用する施設が集中する地区(重点整備地区)において、住民参加による重点的かつ一体的なバリアフリー化を進めるための措置などを定めています。その中で、受付までの1経路を視覚障害者移動等円滑化経路とし、視覚障害者誘導用ブロック等を設置する事が施設によって定められています。

Q. 歩導くんを敷設する事は、法的に問題ないの？

A. 現状の「高齢者、障害者等の円滑な移動などに配慮した建築設計標準(平成 24 年)」における「視覚障害者誘導用設備」において設置する事が可能です。

(参照：国土省回答資料P2)

Q. 歩導くんが設置可能な理由はなんですか？

A. バリアフリー法において、視覚障害者を誘導する方法は、① 誘導用ブロック等による誘導、② 音声その他の方法による誘導と定義されており、同製品は②に属します。

(参照：国土省回答資料P3)

Q. バリアフリー法には、「点字ブロック等を用いる」とだけあるが・・・

A. 国土交通省は、「誘導路として有効であれば、歩導くんのような他の方法も認めている」と回答しています。

(参照：第201回国会予算委員会第8分科会議事録)

障害者差別解消法について

2016年4月1日より
「障害者差別解消法」施行となりました。

- 不当な差別的取り扱い → 禁止
- 障害者への合理的配慮 → 法的義務(国・地方公共団体など)
- 法的義務(民間事業者)

歩導くんは
合理的配慮に
活用可能です。

※2021年5月の改正で、今後(公布日より3年以内に)民間事業者も合理的配慮が法的義務となります。

よくあるご質問

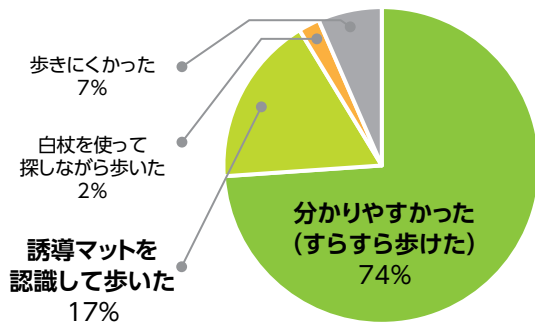
- | | | |
|---|---|--|
| <p>Q 色を選ぶ基準はありますか？</p> <p>A 屋内では明るい床面が使われることも多く、基本を黄色に考えながら、設置場所の床色と輝度比(明度差)を取りやすい色をお勧めしています。*ステンレス製点字紙は弱視者には認識しにくいです。</p> | <p>Q 警告ブロックのように注意喚起に使えますか？</p> <p>A 階段などの危険箇所への注意喚起にはお使いいただけません。部屋のドア前に目印として設置するなど、危険ではない箇所にはお使いいただけます。</p> | <p>Q 屋外に設置できますか？</p> <p>A 屋内専用です。屋外(道路)には設置できません。理由としては耐候性の問題、関連法令の違いなどが挙げられます。</p> |
| <p>Q 何枚頼めば良いかわかりません。</p> <p>A 工事用レイアウト図を作図して算出します。施設図面や写真、ご希望のルートや長さなどを頂ければ簡単なレイアウト案を作成します。(無料に対応いたします)</p> | <p>Q 設置に使うテープの種類を教えてください。</p> <p>A 誘導マットと床材の接着には両面テープを推奨しています。床材と両面テープとの接着は事前テストを行うことが望ましく、床材と接着しにくい場合はプライマーの使用をおすすめいたします。</p> | <p>Q 工事費はどれくらいかかりますか？</p> <p>A お客様の方で設置される場合は不要です。納入時に設置工事まで行う場合は、無料でお見積りいたしますのでご相談ください。(所在地・枚数・工事時期等で変動します)</p> |
| <p>Q 転倒や滑りが心配なのですか？</p> <p>A 表面に突起物が無いならかなスロープ形状のため、お年寄りや肢体不自由者がつまづきにくい形状です。また表面形状により、水に濡れても滑りにくくなっています。(CSR 測定を実施して確認済み)</p> | <p>Q ポリッシャーは使用できますか？</p> <p>A 床面と一緒に清掃して下さい。洗浄ブラシは硬すぎないもの(赤パッド、青パッド程度)を選び床との境目への圧を弱くするなどして、めくれ等に充分ご注意ください。また清掃後は水分の拭き取りをお願いします。</p> | <p>Q イベント等で仮設利用できますか？</p> <p>A 仮設利用できます。
[数日間程度の利用] 仮設用テープまたは吸着テープを使って設置します。
[1ヶ月程度の利用] 床材の種類などによってご提案いたします。</p> |

視覚障害者の声

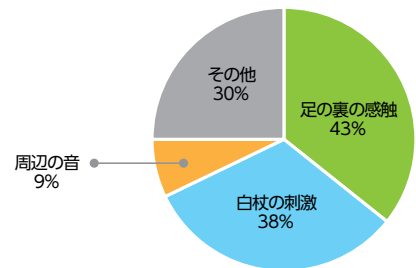
「視覚障害者も歩きやすい」という評価

視覚障害者にも歩きやすいという評価を得た。誘導マットの認識は、足と手の感覚により、床材との材質の違い、勾配などの物理的ものが重視され、弱視の方は明度差・彩度差などの情報を使い、誘導マットを認識している。

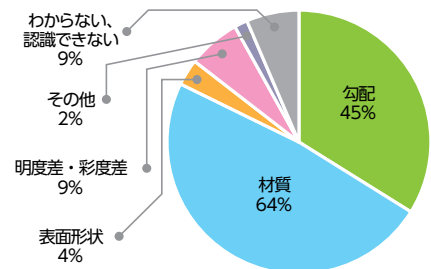
誘導マットは歩きやすかったですか？



誘導路を探するとき何を頼りにさがしますか？(複数回答可)



誘導マットはどの部分で認識できますか？(複数回答可)



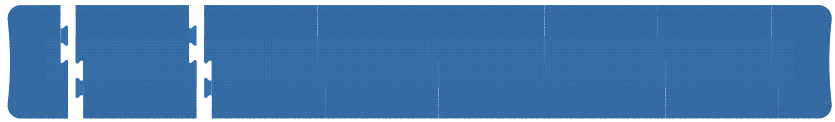
2015 年日本ライトハウス展にてアンケートを実施 有効回答数 n=46





歩導くん Guideway

視覚障害者歩行誘導ソフトマット

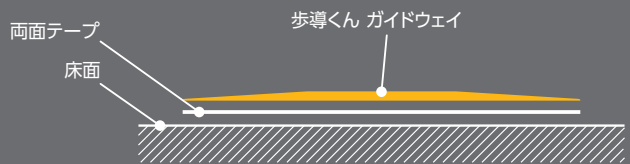


数時間で設置可能。バリアフリー法適応施設へ。

設置場所の床材を切削・加工する必要はございません。

歩導くん ガイドウェイは粘着力と再剥離性の両方を兼ね備えた特別な両面テープを使用しています。

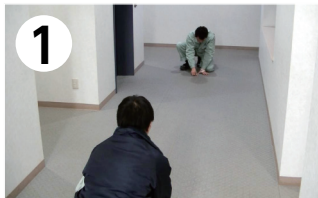
製品裏面全体と床を接着するので、大きな改修工事を全く必要とせず、数時間程度の最小限営業ロスで仮設・常設共に施工することが可能です。



施工は既存の床の上に両面テープで固定するため専用工具などは不要で、簡単に短時間で施工することができるため、営業後や休館日に対応可能。後日のレイアウト変更の際にも剥離・再施工が容易です。フロアカーペットを含む、ほとんどの床材で設置できます。



施工手順



1

1.位置決め
水糸などを使用して、設置場所の墨出しをします。
(仮置をして設置位置を確認)



2

2.テープ貼り
床面を綺麗にします。テープを貼ります。
(床材に合わせてテープの種類が変わります。)



3

3.設置
テープの剥離紙を少しずつ剥がし、始端部から製品を貼り付け、定めた位置に合わせて貼っていきます。



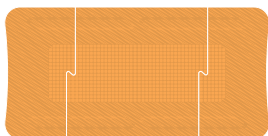
4



4.仕上げ
ゴムハンマーで叩き、製品を圧着させます。

設置寸法例

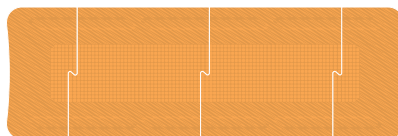
センター型・エッジ型共にジョイント部分がありますので、設置サイズは必ず**[300mm]**の倍数になります。設計の際にはお気をつけください。



全長：600mm



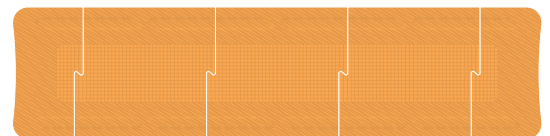
エッジ型 2枚 
センター型 1枚 

全長：900mm



エッジ型 2枚 
センター型 2枚 

全長：1,200mm



エッジ型 2枚 
センター型 3枚 

※ 300mmの倍数以外の寸法をご希望の場合は、ご相談ください。

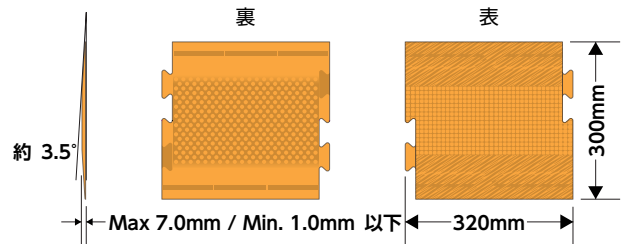
製品仕様



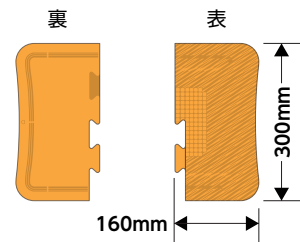
- ・スロープ傾斜:約3.5°
- ・素材:合成ゴム
- ・メーカー保証:1年

※ バリアフリー法の定める「JIS A 1454」ですべり抵抗係数を測定し、日本建築学会の推奨値であることを確認しています。
 ※ 階段や傾斜部分については注意喚起として警告ブロックが必要となります。(弊社にて同時納入も承っております)

○ センター型 W:300×L:320×T:7mm (最薄部は1mm以下)

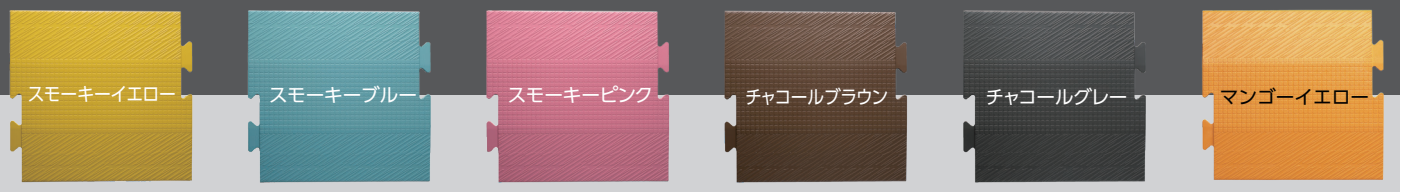


○ エッジ型 W:300×L:160×T:7mm (最薄部は1mm以下)



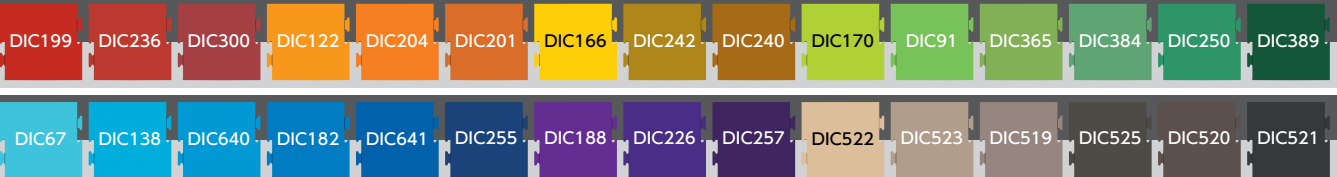
カラーバリエーション

標準色



※ 本カタログの印刷の色味は実際の製品の色とは異なります。

DICナンバーで色をご指定下さい。オリジナルカラーの誘導路を作る事ができます。



※ オリジナルカラーの製品はご指定の色の近似値色となります。ゴム素材によっては色調が限定される場合もございますので、事前お打ち合わせをさせていただきます。

※ 本カタログの印刷の色味は実際のDICナンバーの指定色とは異なります。必ず「DICカラーガイド」でご確認の上、DICナンバーをご指定ください。

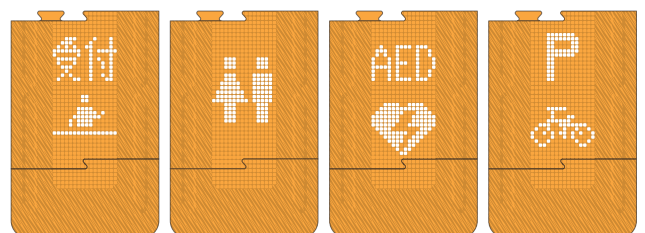
(DIC ナンバーとは、DIC グラフィックス株式会社が発行している色見本帳「DIC カラーガイド」にある色番号のことです。)

便利な誘導サイン

誘導路としての利用価値を高めるため、表面中央部のグリッドを利用し、誘導サインとして、バス・タクシー乗り場・地下鉄・インフォメーション・コインロッカーなど、パブリック空間での定番のピクトグラムや 16 ドットでの文字表現も可能です。



漢字・ひらがな・カタカナなどの文字やアイコンが表現可能。



※ピクトグラムはオプション対応となります。

